

東日本大震災による災害のお見舞いと本学会の活動について

このたびの東日本大震災により被災された皆さま、ならびにご関係の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆さまに心からお悔やみ申し上げます。さらに福島第1原子力発電所事故、引き続き余震や停電など、日常生活に多大な影響が生じていることにつきましても、重ねてお見舞い申し上げます。被災された本学会会員を含むご関係の皆さまのご健康と、一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

このような状況の中、本年7月開催予定の第51回本学会総会・学術集会につきましては、平原史樹会長（横浜市立大学）に慎重にご検討いただいた結果、期間を短縮いたしますが、ほぼ予定通りの内容で開催されることが決定いたしました。学際的に先天異常の成因解明、診断、治療、予防に取り組むことを使命とする本学会は、今回の未曾有の災害に屈することなく本来の活動を引き続き発展させていく中で、今後被災地はじめ我が国の復興へ向けて、どのような社会貢献の取り組みができるか会員の皆さまと考えることを参りたいと存じます。会員の皆さまの積極的なご参加とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

日本先天異常学会理事長 大谷 浩